

3月1日：VN指数は反発、終値は1,500ポイント目前

大型株が買われ、VN指数は反発。節目の1,500ポイントが目前に迫った。

ホーチミン市場のVN指数は0.58%（8.65ポイント）高の1,498.78ポイントで取引を終えた。同指数は前日8.76ポイント安で引けていた。

騰落別では247銘柄が上昇、204銘柄が下落した。出来高は前日比で増加し、売買高は8億4,240万株を超え、売買代金は26兆3,000億ドン（11億5,000万米ドル）となった。

投資家はこの日リスク選好を強め、大型株が上昇した。VN30指数は0.19%（2.94ポイント）高の1,520.12ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、17銘柄が上昇、11銘柄が下落、2銘柄は変わらずだった。

2.86%高となったビンググループ（VIC）は値上がり寄与度でトップとなった。ベトナムゴム工業グループ（GVR）、DIC不動産（DIG）、ベトナム銀行（VCB）はそれに続いた。

シーバンク（SSB）、ビンホームズ（VHM）、ベトナム投資開発銀行（BID）も買われ、マーケットを支えた。

一方で前日にストップ高をつけた鉄鋼株は、午後に入るとその上げ幅を縮小させた。ホアファットグループ（HPG）-0.64%、ナムキム鉄鋼（NKG）+2.49%、ホアセングループ（HSG）+1.69%で取引を終えた。

しかし世界的な地政学リスクの高まりから、投資家の利益確定売りは続いている。

「マーケットは引き続きロシアとウクライナの停戦交渉の結果に注目している」（サイゴンハノイ証券のアナリスト）

前向きな見方では「交渉がうまく進んだ場合、VN指数は現在のレンジ相場を上抜け、心理的節目である1500ポイントを再び乗せる可能性がある」（同証券会社）

その一方で後ろ向きな見方では「交渉が難航して事態が悪化した場合、VN指数は底値拾いの買いが現れる下値支持線辺りまで下げる可能性がある」（同証券会社）

HNX指数は0.71%（3.14ポイント）高の443.56ポイントで取引を終えた。

売買高は約1億2,120万株、売買代金はおよそ3兆6,000億ドンとなった。

外国人投資家はホーチミン、ハノイ両市場で合わせて1,208億4,000万ドンを買越した。そのうちホーチミン市場では1,485億3,000万ドンを買越したが、ハノイ市場では276億9,000万ドンを売越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。